

令和7年度 科学と人間生活 シラバス

科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	1 年次
目標	自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	科学技術の発展と、現代社会での科学技術の役割について理解している。 実験器具の取り扱いを理解し、実験や観察を通して学んだことを、レポートとしてまとめることができる。	実験や観察を通して、我々の生活を昔より豊かにしてきた科学技術の役割について探究することができる。	現代社会において、科学技術の発展が社会を豊かで便利にしてきた様子に積極的に関わり、見通しをもって振り返るなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	・ 定期考査 ・ 北高検定 ・ 「実験・観察」に対する取り組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1 編 生命の科学 2 編 物質の科学	授業ごとに自己評価を行う。 単元ごとに小テストを実施する。 定期考査を実施する。	東京書籍 科学と人間生活 授業プリント NHK for School
後期	3 編 光や熱の科学 4 編 宇宙や地球の科学		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・ 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を持つこと。 ・ 疑問に思ったことを確かめようとする態度を持つこと。 ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。
--

令和7年度 物理基礎 シラバス

科目	物理基礎	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	自由選択
目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物体の運動とさまざまなエネルギーについて、知識を身に付けるとともに、観察、実験などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題をみだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
評価方法	・ 定期考査 ・ 「実験・観察」の取り組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1 章 物体の運動 2 章 エネルギー	授業ごとの自己評価。 単元ごとの小テスト。 定期考査。	実教出版 高校物理基礎 授業プリント NHK for School
後期	3 章 波 4 章 電気		
	5 章 物理と社会		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・ 日常生活の中で物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、それらについて科学的に考える態度を持つこと。 ・ 疑問に思ったことを確かめようとする態度を持つこと。 ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。
--

令和7年度 化学基礎 シラバス

科目	化学基礎	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	3 年次
目標	主体的に物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
評価方法	・ 定期考査 ・ 北高検定 ・ 「実験・観察」に対する取り組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1編 化学と人間生活 第2編 物質の構成	授業ごとに自己評価を行う 単元ごとに小テストを実施する。 定期考査を実施する。	東京書籍 新編化学基礎 授業プリント NHK for School
後期	第3編 物質の変化		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・ 日常生活の中で物質とその変化に主体的に関わり、それらについて科学的に考える態度を持つこと。 ・ 疑問に思ったことを確かめようとする態度を持つこと。 ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。

令和7年度 生物基礎 シラバス

科目	生物基礎	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	2 年次
目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。
評価方法	・ 定期考査 ・ 北高検定 ・ 「実験・観察」に対する取り組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	1 編 生物の特徴 2 編 遺伝子とそのはたらき	授業ごとの自己評価を行う。 単元ごとの小テストを実施する。 定期考査を実施する。	東京書籍 新編生物基礎 授業プリント NHK for School
後期	3 編 ヒトの体の調節 4 編 生物の多様性と生態系		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

・ 日常生活の中で生物や生物現象に主体的に関わり、それらについて科学的に考える態度を持つこと。 ・ 疑問に思ったことを確かめようとする態度を持つこと。 ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。

令和7年度 地学基礎 シラバス

科目	地学基礎	単位数	2単位
		対象 部・年次	1. 2. 3部 4年次

- 目標**
- ・日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
 - ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 - ・地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自然界における地学的な現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験を行い、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然界における地学的な現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地学の現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	・定期考査 ・北高検定 ・実験・観察」に対する取り組み	・定期考査 ・発表内容	・提出物の提出状況及びその内容 ・自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1編 私たちの大地 第2編 私たちの空と海	単元末にワークを実施する。 単元ごとに自己評価を行う。 小テストで定着度をはかる。 定期考査を実施する。	東京書籍 新編地学基礎 自作プリント
後期	第3編 私たちの宇宙の誕生 第4編 私たちの地球の歴史 第5編 地球に生きる私たち		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- 1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を持つこと。
- 2 疑問に思ったことを確かめようという態度を持つこと。
- 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

令和7年度 防災の科学① シラバス

科目	防災の科学①	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2 部	自由選択

丙種危険物取扱者試験合格レベルに向けて学習する。

- 目標** 危険物に係る物理的・化学的な現象を理解する必要性を知り、科学的に考察し処理する能力を高める。
また、科学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に防災に活用する姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	丙種危険物取扱者合格レベル（正答率60%以上）に向けて、燃焼と消火の理論、危険物の名称やその性状、危険物に係る法制度を理解している。指定数量等の危険物の管理に係る数値計算を行うことができる。	危険物の物理的・化学的性質を理解し、実生活や製造所等における取扱いを想定して、科学的・論理的に状況判断を行い、適切な行動を選択して、未知の状況にも対応できる。	消防法第1条が掲げる目的に則り、火災の防止に向けて主体的に方策をたて、実行に移すことができる。 自らの理解状況を省みて、学習に対する姿勢を調整し、学んだことを人生や社会に生かそうとする。
評価方法	・ 定期考査 ・ 授業プリントへの取組み	・ 定期考査 ・ 授業プリントへの取組み	・ 提出物等の成果 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1編 燃焼および消火に関する基礎知識	授業プリント内の問題演習を行う。 定期考査を実施する。 単元ごとに自己評価を行う。	実教出版 チャレンジライセンス 丙種危険物取扱者 テキスト 自作プリント その他ICT関連コンテンツ
後期	第2編 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法		
	第3編 危険物に関する法令		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 資格取得に向けて、具体的な目標をもって学習に取り組むこと。
- ・ 疑問に思ったことは、担当教員に聞いたり各自で調べるなどして解決に努めること。
- ・ 習得した知識や技能を元に、自律して状況判断ができることを目指して学習に取り組むこと。

令和7年度 防災の科学② シラバス

科目	防災の科学②	単位数 対象 部・年次	1 単位 1・2部 自由選択
----	--------	----------------	-------------------

乙種4類危険物取扱者試験合格に向けて学習する。

目標 危険物に係る物理的・化学的な現象を理解する必要性を知り、科学的に考察し処理する能力を高める。
また、科学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に防災に活用する姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	危険物に関する知識や理解を深め、実験・観察を通して危険物に係る物理的・科学的な現象を理解し、日常生活に応用することができる。	危険物の性質やそれに係る現象に問題点を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	危険物に係る物理・化学的な現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	・ 定期考査 ・ 北高検定(後期入学生) ・ 「実験・観察」の取り組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1編 基礎的な物理学及び化学 1章 物理学の基礎的な知識 2章 化学の基礎的な知識 3章 燃焼、消火の基礎知識	授業ごとの自己評価を行う。 単元ごとの小テストを実施する。 定期考査を実施する。	実教出版 チャレンジライセンス 乙種4類危険物取扱者 テキスト 授業プリント
後期	第2編 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 1章 危険物の分類 2章 乙種4類危険物の性質 3章 事故例 第3編 危険物に関する法令 1章 危険物と指定数量 2章 製造所等の区分と位置・構造・設備基準 3章 許可申請と届け出手続き		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 資格試験取得に向けて、目標を設定して学習を重ねること。
- ・ 疑問に思ったことを確かめる態度を持つこと。
- ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

令和7年度 防災の科学 シラバス

科目	防災の科学	単位数 対象 部・年次	2 単位 3 部 自由選択
----	-------	----------------	------------------

丙種危険物取扱者試験合格レベルに向けて学習する。

目標 危険物に係る物理的・化学的な現象を理解する必要性を知り、科学的に考察し処理する能力を高める。
また、科学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に防災に活用する姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	丙種危険物取扱者合格レベル（正答率60%以上）に向けて、燃烧と消火の理論、危険物の名称やその性状、危険物に係る法制度を理解している。指定数量等の危険物の管理に係る数値計算を行うことができる。	危険物の物理的・化学的性質を理解し、実生活や製造所等における取り扱いを想定して、科学的・論理的に状況判断を行い、適切な行動を選択して、未知の状況にも対応できる。	消防法第1条が掲げる目的に則り、火災の防止に向けて主体的に方策をたて、実行に移すことができる。 自らの理解状況を省みて、学習に対する姿勢を調整し、学んだことを人生や社会に生かそうとする。
評価方法	・ 定期考査 ・ 授業プリントの取組み	・ 定期考査 ・ 授業プリントの取組み	・ 提出物等の成果 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	第1編 燃烧および消火に関する基礎知識 第2編 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	授業プリント内の問題演習行う。 定期考査を実施する。 单元ごとに自己評価を行う。	実教出版 チャレンジライセンス 丙種危険物取扱者 テキスト 自作プリント その他ICT関連コンテンツ
後期	第3編 危険物に関する法令		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 資格取得に向けて、具体的な目標をもって学習に取り組むこと。
- ・ 疑問に思ったことは、担当教員に聞いたり各自で調べるなどして解決に努めること。
- ・ 習得した知識や技能を元に、自律して状況判断ができることを目指して学習に取り組むこと。

令和7年度 防災の科学② シラバス

科目	防災の科学②	単位数 対象 部・年次	1 単位 後期入学
----	--------	----------------	--------------

乙種4類危険物取扱者試験合格に向けて学習する。

目標 危険物に係る物理的・化学的な現象を理解する必要性を知り、科学的に考察し処理する能力を高める。
また、科学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に防災に活用する姿勢を育成する。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	危険物に関する知識や理解を深め、実験・観察を通して危険物に係る物理的・科学的な現象を理解し、日常生活に応用することができる。	危険物の性質やそれに係る現象に問題点を見だし、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	危険物に係る物理・化学的な現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
評価方法	・ 定期考査 ・ 北高検定 ・ 「実験・観察」の取組み	・ 定期考査 ・ 発表内容	・ 提出物の提出状況及びその内容 ・ 自己評価シート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
後期	第1編 基礎的な物理学及び化学 1章 物理学の基礎的な知識 2章 化学の基礎的な知識 3章 燃焼、消火の基礎知識 第2編 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法 1章 危険物の分類 2章 乙種4類危険物の性質 3章 事故例 第3編 危険物に関する法令 1章 危険物と指定数量 2章 製造所等の区分と位置・構造・設備基準 3章 許可申請と届け出手続き	授業ごとの自己評価を行う。 単元ごとの小テストを実施する。 定期考査を実施する。	実教出版 チャレンジライセンス 乙種4類 危険物取扱者テキスト 授業プリント。

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- ・ 資格試験取得に向けて、目標を設定して学習を重ねること。
- ・ 疑問に思ったことを確かめる態度を持つこと。
- ・ 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。